

「牧山地区生活交通を考える会」からの経過報告

地域の皆様から「牧山地区生活交通」の『愛称・マスコット』を募集したところ多数の応募がありました。3月23日厳正な審査をした結果、愛称は『牧タク』に、マスコットキャラクターとしてはかつての『牧山小学校の校章』を図案化したものに決定しました。

また、岡山市がマグネットシートや停留所看板のイラストを作成し、考える会にて正式決定することとなりました。試験運行は来春の予定です。



大戸の一押し のんびりとした時間

大戸の入り口はとっても狭く、軽自動車が通るのが、やっとの地区です。昨年までは、入ってすぐの所に美しく咲いていた桜の木も、伐採したため今はもうありません。春に何か忘れ物をしたみたいです。それでも大戸の風景には、管掛の山あいや杏の花の横を通り抜けていく電車があり、時間だけはのんびりと過ぎて行きます。

若い頃ならつまらないと思った景色が、ゆったりと流れていき、この、のんびりとした時間に身も心も癒され、幸せな時を過ごす事が出来るかけがえのない場所だと思っています。



編 集 後 記

新しい時代がスタートしました。災害からの復旧・復興も進み、牧山の新しい顔も見えてきました。満開の桜のもと、ウグイスの声を聞きながら、四季折々の自然を五感で感じることのできる牧山の素晴らしさを再認識するとともに、より豊かな牧山を目指し、心を一つに力強く前進していかなければと思う今日この頃です。“たより”がそのための一助となるよう、地域の皆様のニーズや牧山の魅力をしっかりと発信し続けていきたいと思います。